

貸出しDVD一覧（社会教育課）

（令和8年1月作成）

貸出番号	媒体	題名	時間	購入年	内容
40	DVD	青春のヒューマンステージ	31分	H20 (2008)	さまざまな人権問題の固有の経緯や課題を踏まえ、その根底にある共通の差別構造を見極めることを通じ、豊かな人権感覚を身に付けることをねらいとしています。
41	DVD	ホームタウン	54分	H20 (2008)	在日韓国人3世の姿を通して、名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切にして相互に理解し合うことの必要性を学び、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとなります。
42	DVD	いま、部落を語る若者たち	27分	H20 (2008)	若者たちは等身大の自分を語り、活動を語り、悩みを語ります。部落のマイナスイメージを克服し、等身大のアイデンティティーを模索し始めた若者たちの姿を追う中で、部落差別に向き合う手がかりを探します。
43	DVD	同級生	30分	H21 (2009)	部落差別が原因で物別れになってしまった二人の父親が、子どもたちや家族同士のふれあいの中で再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく姿を描いています。
49	DVD	いのち輝くとき	35分	H22 (2010)	深刻な社会問題となっている虐待。特に、地域社会から孤立している親が現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないかでしょうか。お年寄りの温かい思いやりと励ましで若い夫婦が立ち直っていく、生きていることの素晴らしさと命の尊さを問う作品です。
50	DVD	私の中の差別意識 —部落差別問題から考える—	24分	H23 (2011)	同和問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促しています。あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。
51	DVD	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	25分	H23 (2011)	人権というと、なんだか難しいことと思いがちです。しかし、私たちの日常生活のいろいろな場面に「人権のヒント」は隠されています。この教材は、街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まつてくる。その交流の中から、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを、思いやる心の大切さを理解していく内容になっています。
52	DVD	夫婦で差別と闘います！	30分	H23 (2011)	結婚して3年。部落出身の妻と部落外の夫は講演活動を始めた。異なる立場からの二人の講演は部落差別の実態を重層的に暴いていく。二人の結婚を祝福した人や応援した人、そして、悩んだ親たち…。赤裸々に語られる差別心とは？結婚差別の実体験にも二人は踏み込んでいく。差別は人と人とのつながりだけでなく、自分の可能性も断ち切ってしまう。そんな思いをもつ高校生たちが企画した交流集会で、二人は語った。
53	DVD	探梅（たんばい） 春、遠からじ（アニメ）	40分	H23 (2011)	夫の故郷である北九州市に越してきた亞紀。東京育ちの亞紀にとって、地域の世話好きな邦子は苦手な存在だった。ある日、愛猫が失踪し、邦子に助けを求める。愛猫を助けたのは町内で孤立している波岡だった。波岡との出会いと福祉協力員としての活動を通して、亞紀は人がつながる温かさを感じていく。人と人とのつながりや「包み込む社会」の大切さについて描かれた作品。
54	DVD	親愛なるあなたへ	37分	H23 (2011)	仕事一筋に生きてきた小野寺弘務の定年退職を目前に、妻の陽子が脳梗塞で急死。陽子は地域のボランティア活動をしていたが、弘務は全く無関心だった。陽子の死後、弘務は陽子の日頃の様子や地域を知らなかったことを痛感し、地域を見つめ直していく。数日後、陽子の手紙を受け取り、その手紙を読むのだが…。一人の男性の「気づき」と「再生」を描いたドラマ。無関心、無理解という冷たい壁を破り、温かい相互支援を進めることの大切さを伝えています。

貸出しDVD一覧 (社会教育課)

(令和8年1月作成)

貸出番号	媒体	題名	時間	購入年	内容
55	DVD	同和問題と人権 —あなたはどう考えますか— (アニメ)	28分	H23 (2011)	会社でセクハラなどの人権問題を担当する大月友一が、休日、家族と帰郷する道すがら、故郷の話がきっかけとなり、みんなで同和問題について話し合うことになった。部落差別、同和問題についての考えは様々で、父母の体験も聞き知識を深めることにした。この作品は、同和問題について正しく理解し、解決するにはどうすればよいのかを考えるアニメーション作品。
56	DVD	ほんとの空	36分	H25 (2013)	弓枝の一人息子の輝は空オタクで友だちがいない。ある日、輝がマンションの屋上で同じ年頃の龍太に出会い、二人は意気投合する。輝は龍太に招き夕食をとる。後日、龍太の母から福島の草木染めの布をお礼にもらうが、放射能への恐ろしさから布を捨ててしまう。そして、それを龍太がゴミ置き場で発見し…。同和問題や原発事故に伴う風評被害を取り上げ、これらに共通する「偏見」という意識を課題としそれに「気づくこと」「我がこと」として捉えることをねらいとしています。
57	DVD	しごとのいみ (3編収録)	30分 42分 39分	H25 (2013)	障害のある人、三人三様の「しごと」にまつわる3つのストーリーを収めたDVD。「働いて給料をたくさんもらいたい」「仕事を通じて社会のために貢献したい」こうした思いは、障害のある人も無い人も同じはず。この作品で伝えたいのは、「障害の有無にかかわらず、人にとって働くことの意味を考えたい」ということ。障害のある人たちの働く場である「宮城県・蔵王すずしろ」「京都府・ほのぼの屋」「東京都・パイ焼き窯」の一人の障害のある人にスポットをあてたドキュメンタリー。
58	DVD	秋桜の咲く日	34分	H26 (2014)	特別養護老人ホーム「向陽園」の主任介護士として働くちひろは、新人介護士、直也の空気の読めない発言や指示が伝わらないことにストレスを感じてしまう。ある日、直也が入居者の乾を連れて外出し、そこで乾が倒れて意識不明になってしまいます。病院に駆けつけたちひろは、パニックを起こした直也に、介護士失格だと激しく叱責する。翌日から直也は欠勤し、直哉の母からアスペルガー症候群だと告げられ…。このドラマは発達障害のある人の生きづらさや痛みを描くとともに、周囲の人の正しい理解や配慮が必要だということを伝えています。
59	DVD	結婚差別 400事例	30分	H26 (2014)	「通婚率90%以上」そんな統計から、部落差別は解消したかのような認識が広がっています。弘瀬喜代さんは、その数字の奥にある厳しく悲しい現実を強く訴え、「自らの問題として考えて欲しい…」と参加者の心に熱く語りかけます。弘瀬さんの相談員としての経験から語られる差別の現実を講演会の様子を通して伝えています。
60	DVD	imagination (イマジネーション) 想う つながる 一歩ふみだす	34分	H26 (2014)	ラジオ番組でパーソナリティを務めるサヤカの元に、今夜もリスナーからの相談の便りが届きます。悩みを抱えている人々がラジオ番組を通じて、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマです。 ・いじめをなくすのはアナタ (子どもの人権) ・「関わらないのが一番」それは本当? (同和問題) ・見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと (障害者の人権)
61	DVD	あなたに伝えたいこと	36分	H27 (2015)	インターネットには、利便性と共に差別的な書き込みやネット依存など影の部分もあります。この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから同和問題が身近な問題であることを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などの関わりを通して、ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知りあうことが、同和問題をはじめとする全ての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。
62	DVD	家庭の中の人権 ~生まれ来る子へ~	25分	H28 (2016)	このドラマでは「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語りあい、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。

貸出しDVD一覧（社会教育課）

（令和8年1月作成）

貸出番号	媒体	題名	時間	購入年	内容
63	DVD	ここから歩き始める	34分	H28 (2016)	この作品は、「認知症と共に生きる」というテーマで、高齢者の問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点からとらえます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤と絆の紡ぎ直しを描くことで、高齢者が人として誇りを持って生きていくうえで大切なことを、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。
64	DVD	桃香の自由帳	36分	H28 (2016)	核家族化や都市化が進む中で、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなってきています。同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除したりするなど、気づかぬうちに「人とのつながり」を自ら断つてしまうことがあります。この物語では、主人公の桃香の視点を通して、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人との寄り添い、共に生きるあたたかな世界とは何かについて語りかけます。
65	DVD	風の匂い	34分	H29 (2017)	平成28年4月に施行された「障害者差別解消法」では、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めてています。社会の中にあるバリアは物理的な問題だけではなく、障害のある人への差別意識や知識不足からも生まれています。この作品は、スーパー・マーケットで働く二人の青年が主人公です。その一人は知的障害があるが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友達」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても考えます。
66	DVD	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	35分	H29 (2017)	あなたには「心のよりどころ」がありますか？忙しい日常に追われて誰かと「心を交流する」ことをおろそかにしていませんか？町の路地にたたずむこの小さなカフェにはいろんな人が訪れ、駿と桜が出迎えます。ここは、ココロまじわるヨリドコロようこそわっかカフェへ。 ・三色団子の向こう側（ネット上の人権侵害） ・世代をつなぐ柏餅（高齢者の人権） ・コンペイトウの来た道（外国人の人権）
67	DVD	光射す空へ（アニメ）	32分 (本編) 14分 (解説)	H29 (2017)	平成28年12月に施行された「部落差別解消推進法」では、今現在も部落差別が残っていること、情報化の進展に伴って差別の現状に変化が生じていることが明記されています。また、まだ十分に認知されていない人権課題として性同一性障害や性的指向における少数派の人々（LGBT）、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。若年性認知症、同和問題、LGBTといった様々な人権課題に焦点を当て、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いたアニメーション作品です。
68	DVD	そんなの気にしない	17分	H30 (2018)	この作品は、二人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知って欲しかった。告白されたほうは、相手がそのままの相手で何も変わらないことを伝えたかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます。
69	DVD	お互いの本当が伝わる時 —障害者—	24分	H30 (2018)	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障害者に対する「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。しかしながら、障害のある人に対する差別は解消されたとは言えず、また自分が意図せずとも相手を傷つけるケースも少なくありません。「障害のあるなしに関わらず皆で共生していくためにはどうすればいいのか」

貸出しDVD一覧（社会教育課）

(令和8年1月作成)

貸出番号	媒体	題名	時間	購入年	内容
70	DVD	日本国憲法と部落差別	17分	R1 (2019)	どのような経過を経て憲法が制定されたのかを検証し、その過程で戦後初の男女同権による民主選挙によって選出された国會議員たちが、主体的に憲法制定に取り組んだことを明らかにしました。さらに、平和の基礎となる人権尊重の精神がどのようにして憲法に書き込まれたか、とくに第14条の条文をめぐる論議に注目し、ここに「部落差別の禁止」が明確に記載されたことも明らかにしました。だれひとりとして「差別されない」と明記された「日本国憲法」こそが、真の「解放令」であることを伝え、「差別は黙つて見過ごしてはならない」ことを、いま改めて憲法の意義とともに問いかけます。
71	DVD	パパは女子高生だった！ ～前田 良～	28分	R1 (2019)	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親になった前田良（37）。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。イラストレーターの妻の絵を使った「パパは女子高生だった」が書籍化。当事者やパートナーの思いから、LGBT、性的マイナリティ、多様性について考える教材。
72	DVD	サラーマット ～あなたの言葉で～	36分	R2 (2020)	訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域でともに生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違う」や偏見から外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。 「違う」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、ともに未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマ。
73	DVD	知りたいあなたのこと	21分	R2 (2020)	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。 この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しています。どんな場面で困っているのか、どんな配慮を求めているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。
74	DVD	シェアしてみたらわかったこと	46分	R3 (2021)	「シェア」という言葉が最近身近になってきました。「シェア」という言葉は、「共有する」「分け合う」「広める」といった意味で使われています。社会の中で、互いに共有、つまりシェアしながら進んでいく社会は、一人ひとりが生きやすい社会になるのではないでしょうか。 この作品では、「外国人に関する人権」「性自認や性的指向に関する人権」「外から見えにくい障害のある人の人権」「災害時の人権」の4つのテーマを扱い、それぞれの人権について考える人権啓発ドラマです。
75	DVD	水平社を立ちあげた人々	17分	R3 (2021)	1922年3月3日、京都の岡崎公会堂に差別されてきた人々が集まり「人間は、差別するものではなく、尊敬すべきものだ」と宣言し、「全国水平社」を結成しました。このDVDでは、日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを、現地や関係者を訪ねて取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をすべきかを問いかける教材です。

貸出しDVD一覧 (社会教育課)

(令和8年1月作成)

貸出番号	媒体	題名	時間	購入年	内容
76	DVD	夕焼け	35分	R4 (2022)	作品のテーマは「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える「誰もが人権尊重される社会」の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。
77	DVD	いわれなき誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考えるインターネットにおける人権	20分	R4 (2022)	ネットでの誹謗中傷やデマが、大変大きな問題となっています。ネット上の誹謗中傷により社会的に大変大きなダメージを受け、命を落とす人もいます。この作品では、根拠のない誹謗中傷により、20年以上にもわたって大きな被害を受け、現在にいたるまで誹謗中傷を受けながらも誹謗中傷と闘い、乗り越えていく経験をされたスマイリーキクチさんが出演します。ネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実際の事例をもとに考える教材です。
78	DVD	レインボーストーリーズ 地域社会～ありのままで過ごせるコミュニティ～	22分	R5 (2023)	地域社会においては、男女の役割規範やその価値観が根強く残っていることも多く、「まだ結婚しないの?」といった一見したところ何気ない一言が性的マイノリティの人々を傷つけてしまうことがあります。トランスジェンダーの登場人物を中心に誰もが地域社会の一員として、居心地よく過ごすことができるための様々な地域の取組の工夫が描かれています。「自分の暮らす街に性的マイノリティの人はいない」と考えがちな地域の中において、無意識の差別をしていないかを考える教材です。
79	DVD	あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～	37分	R5 (2023)	主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト（人工肛門保有者）の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さについて考える教材です。
80	DVD	大切なひと	34分	R6 (2024)	現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別などの偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。インターネット上的一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現について考える教材です。
81	DVD	言葉があるから…	31分	R6 (2024)	「人権」は日常の何気ない人ととの関係性の中にもあります。あからさまな差別表現でなくとも、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために…。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さについて考える教材です。
82	DVD	あなたのいる庭	35分	R7 (2025)	社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしている子どもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち（ケアリーバー）がいます。次代の社会を担う子どもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように社会全体で支えていかなければなりません。誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすために「子どもの人権」について改めて考える教材です。